

# 総社市の財政

(財政事情の公表)

令和3年度 決算の概要  
令和4年度 上半期財政運営状況

令和4年 11月

総社市総務部財政課



# 令和3年度 一般会計決算の概要

- 令和3年度総社市一般会計決算は、歳入決算額325億8,688万4千円に対し、歳出決算額304億5,202万5千円で、差し引き21億3,485万9千円の残額を生じています。このうち、繰越明許費の繰越財源分2億5,848万4千円を差し引いた実質収支額は、18億7,637万5千円となっています。
- 歳入は、令和2年度と比べ、34億9,453万円の減額となっています。地方交付税は10億4,686万円増額していますが、昨年度に実施された特別定額給付金事業やGIGAスクール構想などに係る国庫支出金が52億4,476万円減額しています。また、県支出金についても、県・市町村連携事業支援交付金の減などで2億5,579万円減額となっています。

なお、歳入のうち、市税などの市独自でまかなうことのできる自主財源は、全体の36.3%となっており、多くが地方交付税や国・県からの補助金、市債などの財源に依存しています。
- 歳出は、令和2年度と比べ、44億7,578万5千円の減額となっています。扶助費は、新型コロナウイルス感染症の拡大による支援として、住民税非課税世帯や子育て世帯への臨時給付金などにより、17億6,081万円の増額となりましたが、補助費では、令和2年度に実施された特別定額給付金事業分の減などにより、76億703万7千円の減額となりました。また、総社小学校改築事業や雪舟生誕地公園の整備完了などにより普通建設事業費は7億3,048万6千円の減額。公債費は前年度とほぼ同額となり、地食べ学校給食センターえがおなど近年の大型建設事業に対する償還が始まるため、今後も高い水準で推移するものと見込まれます。
- 引続き予想される社会保障関連経費や公共施設等の維持補修費の増大に加え、新庁舎の建設が始まるなど、厳しい財政運営が見込まれる中、ウィズコロナ・アフターコロナの社会に対応し、地域経済の活性化を図り、より一層の健全財政に努める必要があります。

## 令和3年度決算の概要

令和3年度の各会計の決算は次のとおりです。

(単位：千円)

会計区分	歳入 A	歳出 B	差引 C=A-B	4年度への 繰越財源 D	実質収支 C-D
一般会計	32,586,884	30,452,025	2,134,859	258,484	1,876,375
特別 会計	国民健康保険	7,208,017	7,011,625	196,392	196,392
	後期高齢者医療	911,273	910,589	684	684
	介護保険	6,324,560	6,116,783	207,777	207,777
	国民宿舎事業費	537,785	537,780	5	5
	計	14,981,635	14,576,777	404,858	0

### ◎令和3年度に実施した主な事業（一般会計）

(単位：千円)

・私立保育所等の運営に対する委託事業	1,746,984
・各種障害福祉サービスに係る給付	1,268,129
・子育て世帯臨時特別給付金事業	1,180,745
・第2弾そうじゃ復活券事業	900,779
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	712,438
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業	526,683
・障害児施設通所費等支給事業	445,416
・ふるさと納税関連経費	290,706
・小児医療費の給付	264,050

○国民健康保険・・・県を保険者とする国民健康保険の保険税の収納や医療費の給付などの運営に係る収支を経理しています。

○後期高齢者医療・・・75歳以上のすべての方と、一定の障害があると認定された65歳以上の方が加入する高齢者の医療制度として運営しています。

○介護保険・・・総社市を保険者とする介護保険の保険料の収納や介護費の給付などの運営に係る収支を経理しています。

○国民宿舎事業・・・国民宿舎「サンロード吉備路」の運営を行っています。

## 歳入の状況（一般会計）

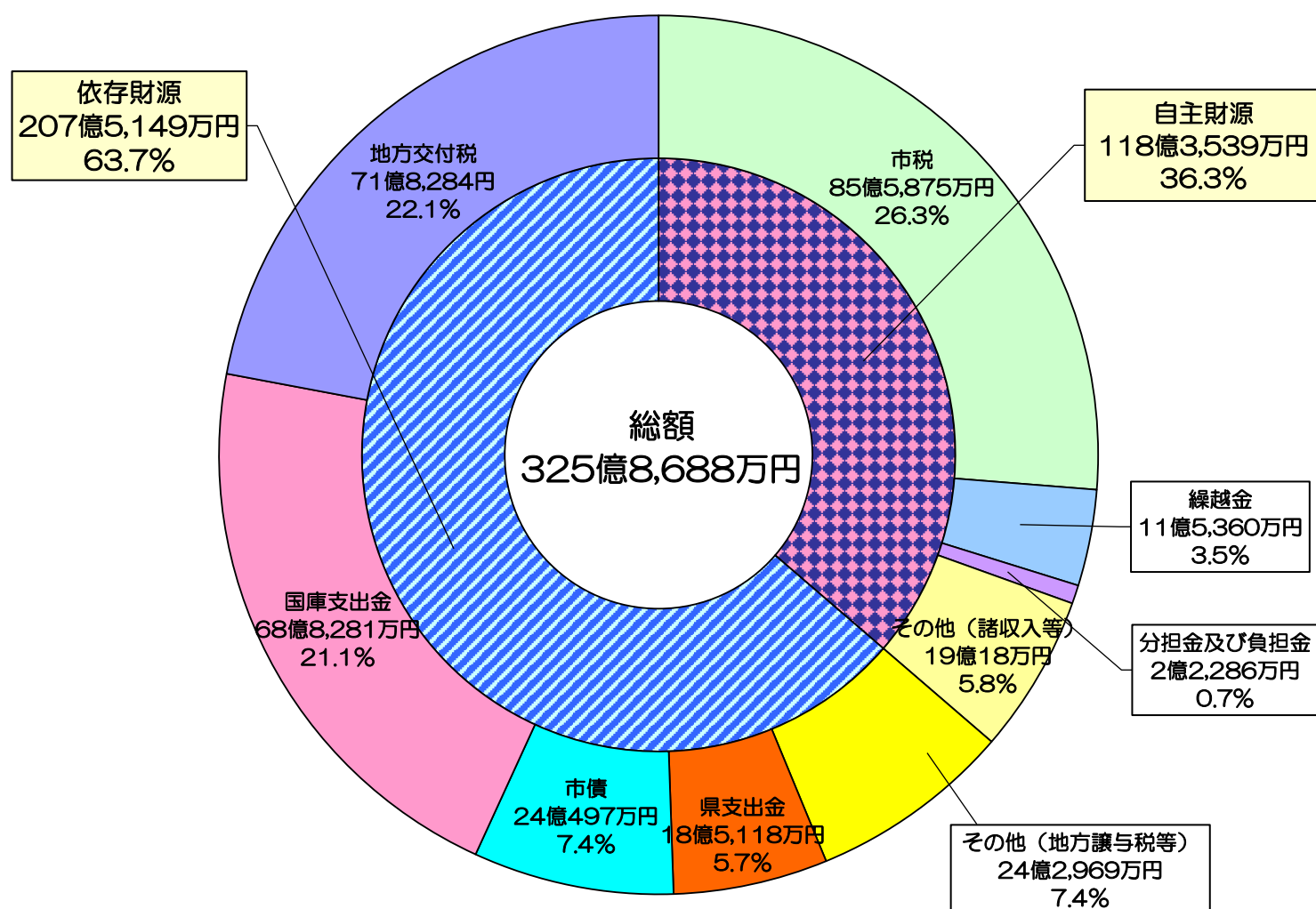
### ●歳入の概要

（単位：千円，％）

区分	内容	令和3年度	
		決算額	構成比
市税	市民税(個人・法人), 固定資産税(土地・家屋・償却資産), 都市計画税など	8,558,746	26.3
繰越金	決算上の剰余金及び前年度から繰り越された事業の既収入財源	1,153,606	3.5
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける者から, その受益を限度として徴収するもので, 保育所保育料や農林業施設整備費分担金など	222,864	0.7
その他	使用料及び手数料, 寄附金, 繰入金, 諸収入など	1,900,178	5.8
<b>自主財源 小計</b>		<b>11,835,394</b>	<b>36.3</b>
地方交付税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため, 財政状況に応じて交付される税	7,182,839	22.1
国庫支出金	市が行う特定の事務・事業に対して国が支払う負担金, 補助金, 交付金など	6,882,811	21.1
市債	公共施設整備などのために市が国や金融機関から長期的に借り入れる資金	2,404,976	7.4
県支出金	市が行う特定の事務・事業に対して県が支払う負担金, 補助金, 交付金など	1,851,177	5.7
その他	国税の一部が市道延長・面積等によって譲与される地方譲与税や地方消費税の一部が市の人口・従業者数等によって交付される地方消費税交付金など	2,429,687	7.4
<b>依存財源 小計</b>		<b>20,751,490</b>	<b>63.7</b>
<b>合計</b>		<b>32,586,884</b>	<b>100.0</b>

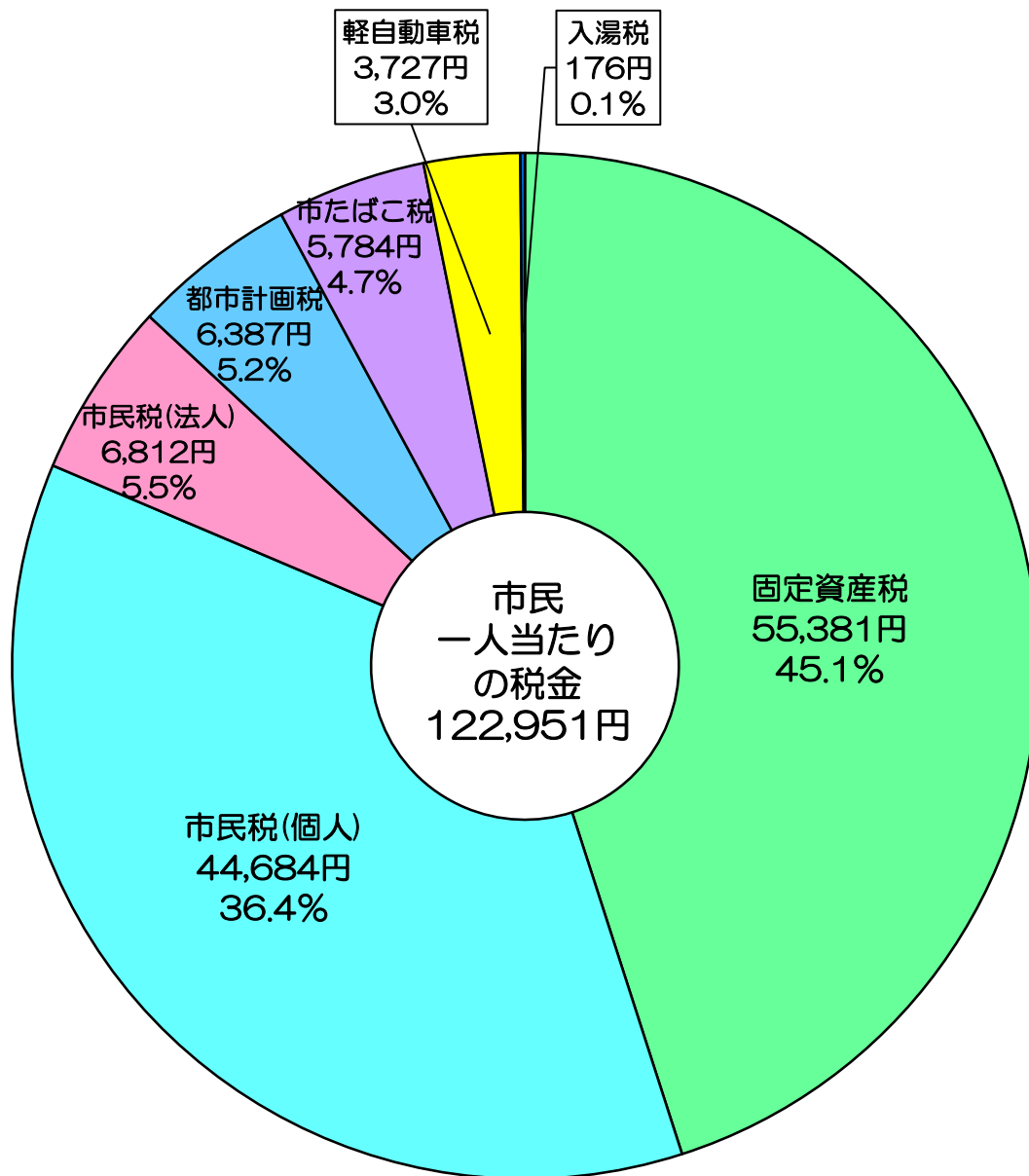
自主財源…市が自主的に得られる財源（市税や施設の使用料，証明書等の発行手数料，事業の分担金）

依存財源…国や県の基準に基づいて交付される財源（地方交付税，国や県からの補助金，市債）



●市税収入の内訳

	市 全 体		市民一人あたり (円)	一世帯あたり (円)	備 考
	金額(千円)	構成比(%)			
固定資産税	3,855,125	45.1	55,381	132,652	人口：69,611人 世帯：29,062世帯 令和4年3月31日現在
市民税(個人)	3,110,510	36.4	44,684	107,030	
市民税(法人)	474,225	5.5	6,812	16,318	
都市計画税	444,609	5.2	6,387	15,299	
市たばこ税	402,604	4.7	5,784	13,853	
軽自動車税	259,452	3.0	3,727	8,927	
入湯税	12,221	0.1	176	421	
合 計	8,558,746	100.0	122,951	294,500	



## 歳出の状況（一般会計）

●歳出の概要

◆目的別決算の内訳

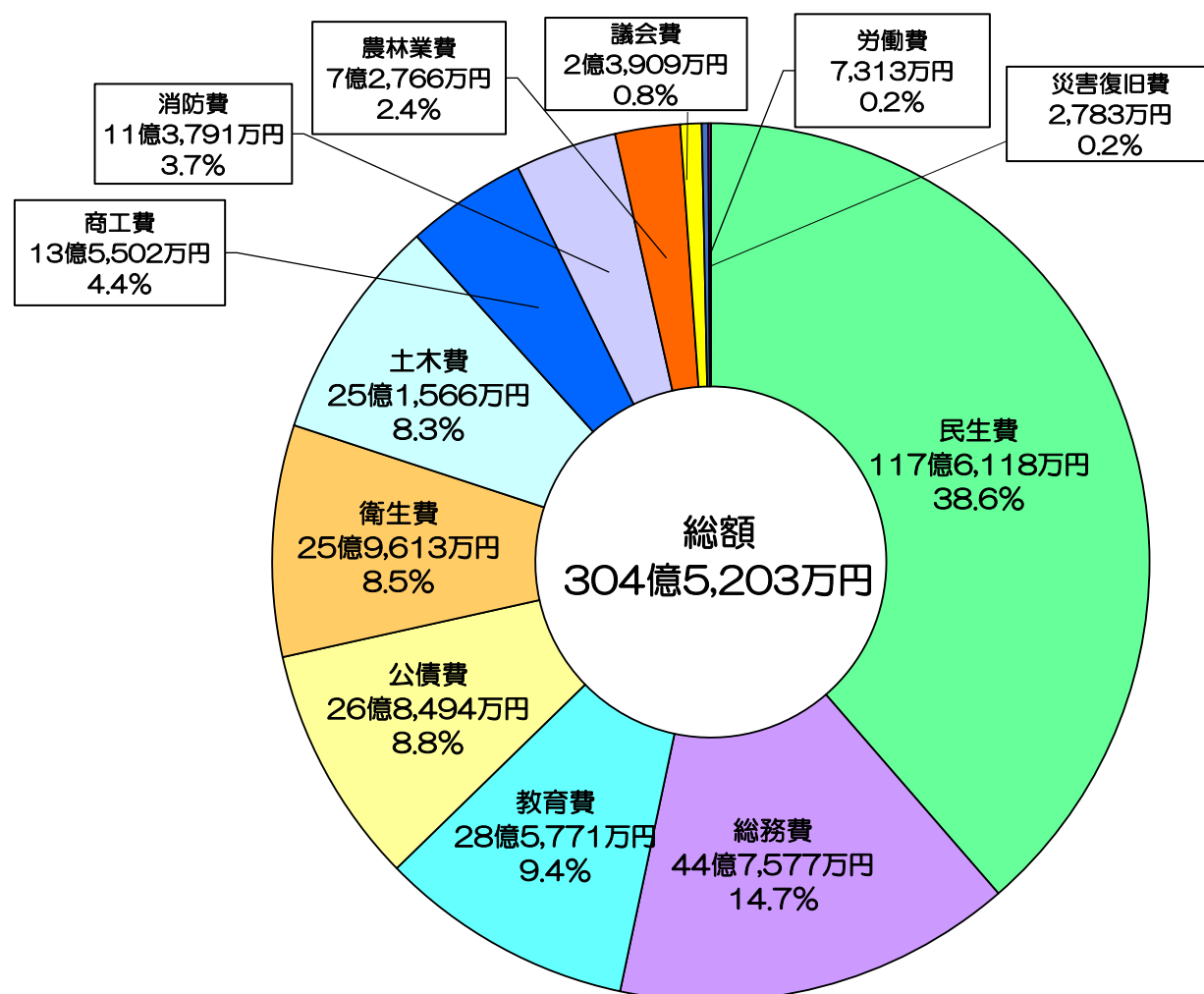
（単位：千円，％）

科 目	内 容	令和3年度	
		決 算 額	構成比
民 生 費	高齢者，障がい者の福祉サービス，子育て支援や保育所の運営	11,761,180	38.6
総 務 費	行政全般の事務管理，税の徴収や戸籍管理，ふるさと納税に関する経費	4,475,767	14.7
教 育 費	幼稚園や小中学校などの維持管理や文化・スポーツの振興	2,857,711	9.4
公 債 費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,684,936	8.8
衛 生 費	健康増進，疾病予防や環境保全，ごみ処理	2,596,131	8.5
土 木 費	道路，河川などの社会資本整備や維持管理	2,515,656	8.3
商 工 費	商工業や観光の振興	1,355,021	4.4
消 防 費	消防や火災予防，水防などの災害対策	1,137,908	3.7
農 林 業 費	農林業の振興支援や生産基盤の整備	727,664	2.4
議 会 費	議会運営	239,085	0.8
労 働 費	雇用対策や勤労者の支援	73,136	0.2
災 害 復 旧 費	災害時の復旧事業	27,830	0.2
歳 出 合 計		30,452,025	100.0

市民一人あたりの経費

437,460 円

福祉や保育からなる民生費が全体の38.6%を占め，最も大きな割合となっています。次いで総務費が14.7%を占めています。

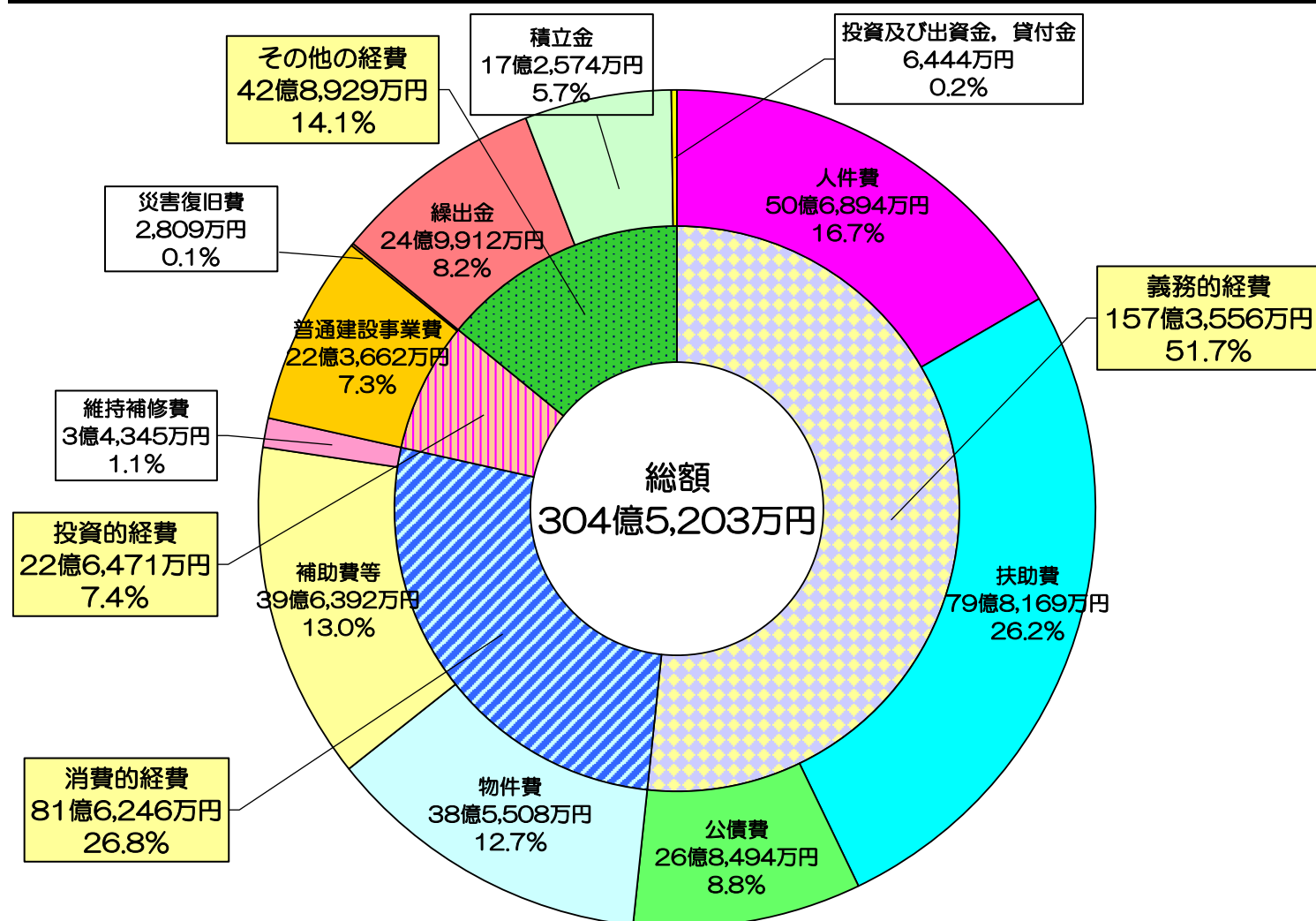


◆性質別決算の内訳

(単位：千円，%)

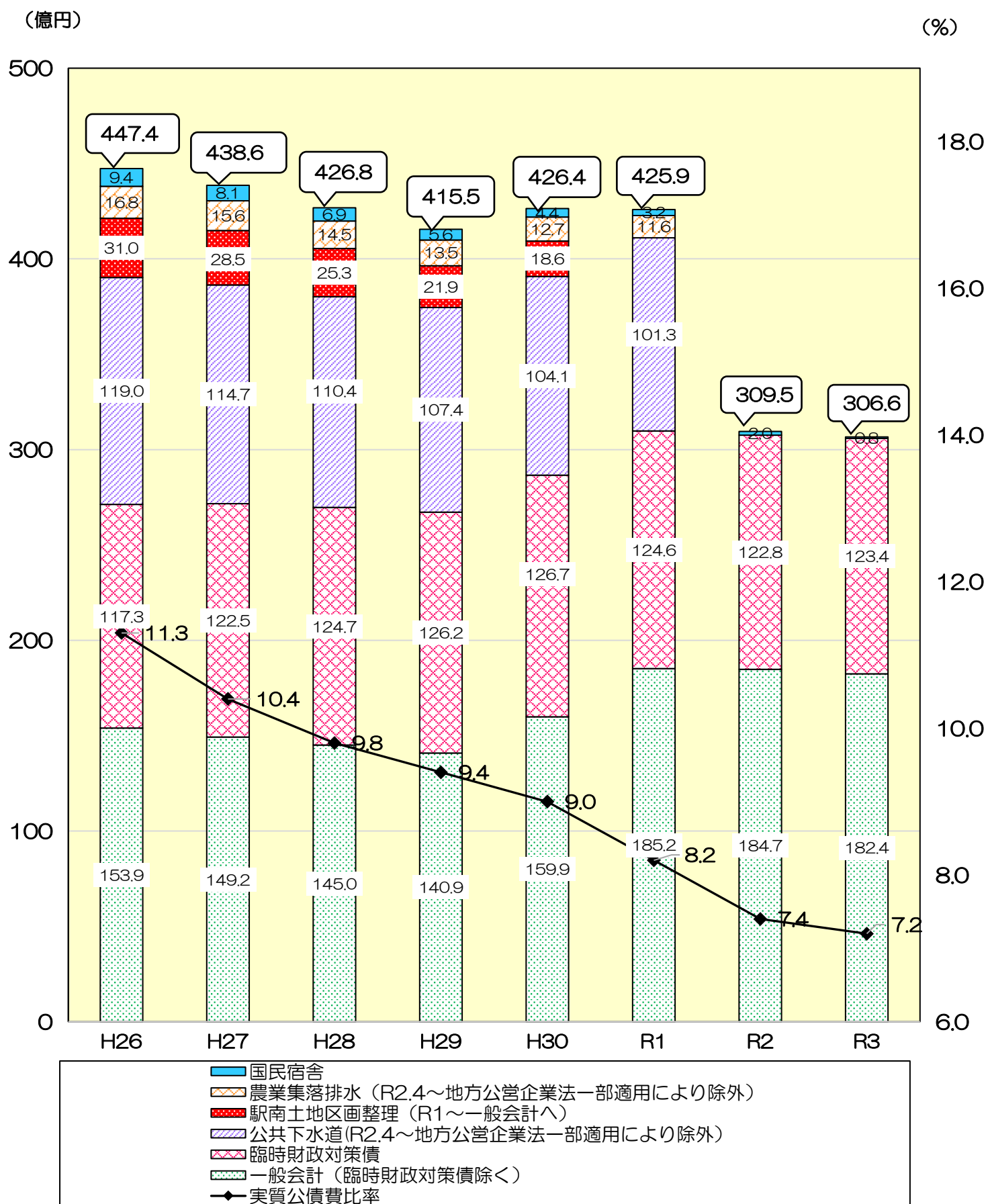
区 分	内 容	令 和 3 年 度	
		決 算 額	構 成 比
人 件 費	職員の給与や退職金，議員や非常勤職員の報酬など	5,068,937	16.7
扶 助 費	児童手当や小児医療費助成などの児童支援，生活困窮者や高齢者の支援	7,981,691	26.2
公 債 費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,684,936	8.8
<b>義務的経費 小計</b>		<b>15,735,564</b>	<b>51.7</b>
物 件 費	消費的性質を有する経費で旅費，需用費，役務費など	3,855,082	12.7
補 助 費 等	市から団体や個人に対して，行政上の目的により交付する現金的給付で，報償費，負担金，補助金及び交付金など	3,963,921	13.0
維 持 補 修 費	市が管理する道路や公共施設を維持するための費用	343,454	1.1
<b>消費的経費 小計</b>		<b>8,162,457</b>	<b>26.8</b>
普 通 建 設 事 業 費	道路の整備，小中学校やその他公共施設の建設や改修	2,236,624	7.3
災 害 復 旧 費	大雨などの異常天候の災害により被災した施設の復旧	28,087	0.1
<b>投資的経費 小計</b>		<b>2,264,711</b>	<b>7.4</b>
繰 出 金	一般会計と特別会計との間での資金運用	2,499,115	8.2
積 立 金	年度間の財源変動に備え，積み立てるもの	1,725,743	5.7
投 資 及 び 出 資 金 ， 貸 付 金	公益上の必要による法人への出資や現金の貸付	64,435	0.2
<b>その他の経費 小計</b>		<b>4,289,293</b>	<b>14.1</b>
<b>歳 出 合 計</b>		<b>30,452,025</b>	<b>100.0</b>

義務的経費が全体の51.7%を占めています。義務的経費は支出が義務付けられ，任意に削減できないことから，この割合が多くなるほど財政の硬直化が進みます。





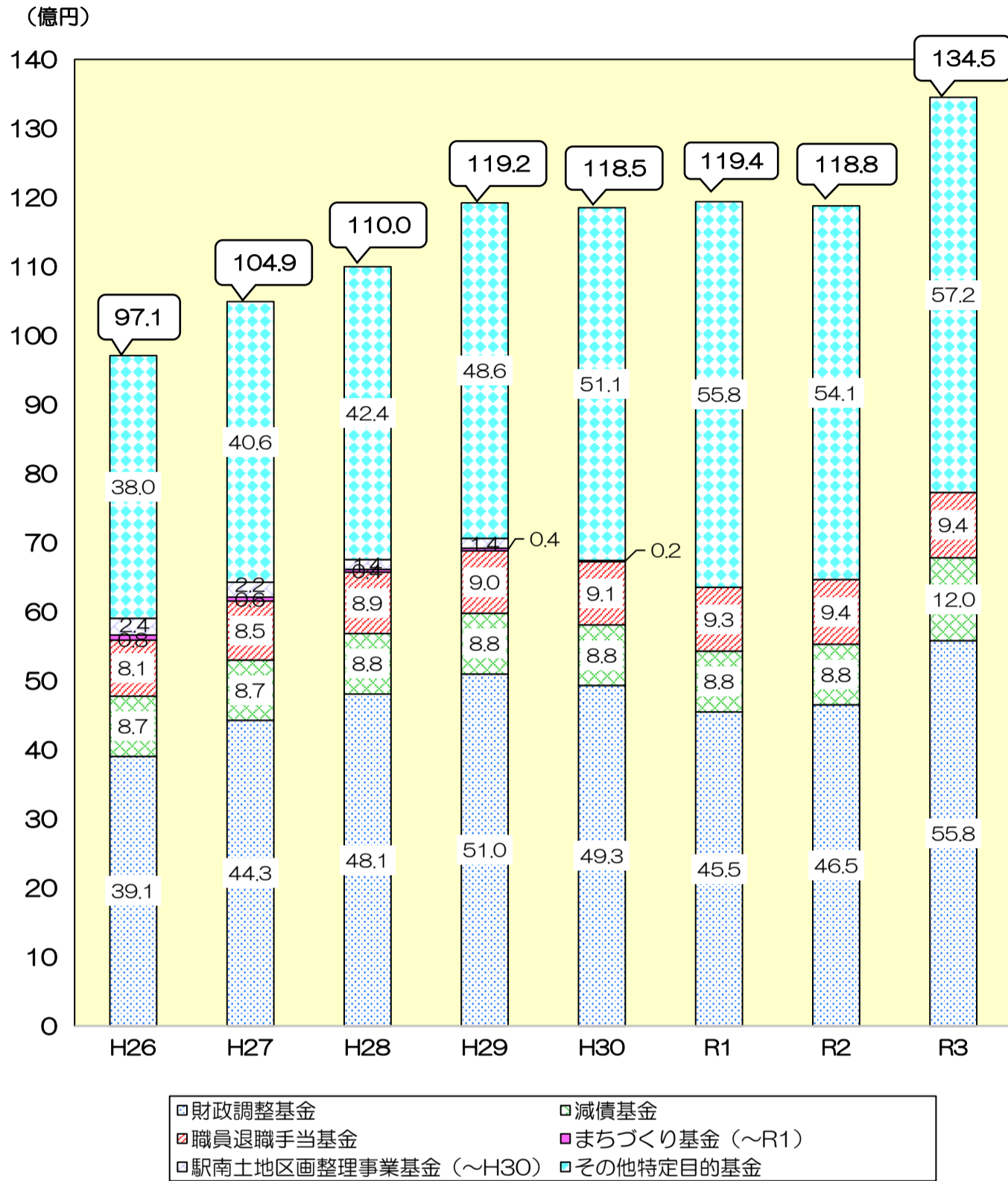
## 市債残高・実質公債費比率の推移



総社市では、一般会計等が負担する公債費及びこれに準じる経費の割合を示す実質公債費比率について、年々改善してきています。

しかしながら、総社小学校改築事業や雪舟生誕地公園の整備等、近年の大型建設事業に対する償還が始まる見込みであることや、新庁舎建設事業等の大型建設事業を進めていることなどから、引き続き厳しい水準で推移することが予測されます。

## 基金残高の推移（普通会計ベース）



市の預貯金に相当する基金には、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金や市債の償還に必要な財源を確保し債務の軽減を図ることを目的とした減債基金、そのほかに教育や文化振興など特定の目的のために積み立てられる特定目的基金があります。

令和3年度は財政調整基金へ約9.3億円積立てるなど基金残高は増加しました。今後、さらに見込まれる社会保障関係経費の増大、また災害の発生等にも確実に対応できるよう、基金残高の確保にも努めています。

## 総社市の決算を家計簿にしてみると

総社市の決算を身近に感じていただけるように、令和3年度一般会計決算状況を1ヶ月の収入が50万円の家庭に例えて、1ヶ月分の家計簿を作ってみました。

(単位：円，%)

毎月の収入			毎月の支出		
項目	金額	構成比	項目	金額	構成比
給料(市税)	131,500	26.3	食費(人件費)	78,000	16.7
パート (使用料・手数料など)	30,000	6.0	医療費・養育費(扶助費)	122,400	26.2
前月からの繰越 (繰越金)	17,500	3.5	ローンの返済 (公債費)	41,100	8.8
貯金の取崩し (繰入金)	2,500	0.5	光熱水費・通信費 (物件費)	59,300	12.7
自主財源 小計	181,500	36.3	家の増改築 (普通建設事業)	34,100	7.3
親からの援助 (地方交付税，地方譲与 税など)	147,500	29.5	町内会，サークル会費 (補助費等)	60,700	13.0
兄弟からの援助 (国・県支出金)	134,000	26.8	子どもへの仕送り (繰出金)	38,300	8.2
ローンの借入 (市債)	37,000	7.4	貯金(積立金)	26,600	5.7
依存財源 小計	318,500	63.7	その他 (維持補修費，災害復旧 費，貸付金)	6,500	1.4
合計	500,000	100.0	合計	467,200	100.0

食費，医療費・養育費，ローンの返済といった，なかなか減らせないお金(義務的経費)が24万1,500円ありますが，家族で稼いだお金(自主財源)は18万1,500円しかなく，親，兄弟からの援助やローンの借入を受けた上で，生活が成り立っています。

今後は，親からの援助(地方交付税等)が減少する一方，必要な経費は更に増加すると見込まれます。これからも，より良い生活と健全な家計を維持していくためには，節約を徹底し，必要性や効果をよく検討した上で，収入の使い道を決めていくことが必要です。

# 令和4年度上半期の財政事情

- 本年度上半期の我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）やロシアによるウクライナへの軍事侵攻等の影響等による世界的な物価高騰等により依然として厳しい状況にあり、令和4年9月の内閣府による月例経済報告によれば、先行きについて、「ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」と指摘しています。
- 本市では、令和3年度決算において、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき示された「健全化判断比率（①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率の4指標）」並びに「資金不足比率」について、いずれの指標も早期健全化基準などを下回っています。
- しかし、社会保障関係経費や公共施設等の老朽化による維持補修費などの増大、さらに今年度から本格的に開始される新庁舎の建設など、今後も多額の財政負担が見込まれています。また、今年度上半期では、感染症対策として、引き続きワクチン接種にかかる経費や物価高騰等により事業者や家計への負担が増加しているため、そうじゃ物価対策応援券を発行するなどの経済対策を行ってきました。今後も徹底した歳出全般の見直しや歳入確保に努めるなど、歳入・歳出両面での行財政改革に積極的に取り組む必要があります。
- このような財政状況の中でも、人口増のための魅力的なまちづくりに努め、市民一人ひとりに寄り添い、「あなたにとって一番やさしいまち そうじゃ」の実現に向けた取り組みも行ってまいります。

令和4年度 上半期財政運営の状況

■市有財産の状況（令和4年9月30日現在）

区 分		現 在 高	
公 有 財 産	土 地	4,699,768 m <sup>2</sup>	
	建 物	256,817 m <sup>2</sup>	
	山 林	1,646,466 m <sup>2</sup>	
	有 価 証 券	388,591 千円	
	出 資 に よ る 権 利	3,399 千円	
債 権		236,397 千円	
基 金	一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	5,581,042 千円
		減 債 基 金	1,201,825 千円
		職 員 退 職 手 当 基 金	945,149 千円
		小 計（以上3基金）	7,728,016 千円
		そ の 他 特 定 目 的 基 金	5,724,594 千円
		計	13,452,610 千円
	金	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	755,030 千円
		介 護 給 付 費 準 備 基 金	575,804 千円
		国 民 宿 舎 運 営 基 金	3 千円
		土 地 開 発 基 金	327,546 千円
合 計		15,110,993 千円	

■一時借入金の現在高（令和4年9月30日現在）

（単位：千円）

会計区分	現在高
一般会計	0
国民健康保険特別会計	0
介護保険特別会計	0

■基金繰替運用の状況（令和4年9月30日現在）

（単位：千円）

区分	繰替運用金
財政調整基金	0
減債基金	0
職員退職手当基金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（令和4年度9月補正予算まで）

（一般会計）

（単位：千円）

科目	件数	限度額	当該年度以降の支出予定額
議会費	2	2,218	1,294
総務費	12	5,107,689	5,106,593
民生費	20	2,141,844	1,812,097
衛生費	5	1,034,108	1,034,108
農林業費	91	944,605	503,386
商工費	1	125,200	84,560
土木費	1	41,500	33,430
教育費	11	1,499,591	1,320,422
合計	143	10,896,755	9,895,890

※限度額が文言等で記載されているもの

- ・ コンビニエンスストア収納業務委託 1件
- ・ 住宅災害復旧等資金利子補給 1件
- ・ 農業近代化資金利子補給 1件
- ・ 損失補償に関するもの 1件
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応中小企業融資支援補助金 1件

## 市債の現在高見込額（一般会計）

令和4年度末 合計 32,113百万円

(単位：百万円)

